

日本海海洋資源 フォーラム in福井

参加無料

事前申込制

日本海でのエネルギー資源の開発促進に向けて、
将来有望な資源として注目されている
メタンハイドレートに関するフォーラムを開催します。

日時

2025.1.10 金 **13:30-15:30**
[受付 13:00~]

会場

福井県国際交流会館 多目的ホール
福井市宝永3-1-1

13:30

開会挨拶

13:50

基調講演

**「日本のエネルギー政策と
メタンハイドレート研究開発に関する政府の取組み」**

経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部 資源開発課長 長谷川 裕也氏

14:25

促進対話

「国と日本海連合構成府県の知事等による意見交換」

[出席者(予定)]

経済産業省資源エネルギー庁、花角新潟県知事(会長)、その他日本海連合構成府県知事(代理)、
青山繁晴参議院議員(オブザーバー参加)

15:00

特別講演

「産総研における表層型メタンハイドレートの研究開発の取組み」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

エネルギープロセス研究部門 総括研究主幹 天満 則夫氏

15:30

閉会

主催：海洋エネルギー資源開発促進日本海連合

[青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県]

メタンハイドレート (methane hydrate) とは

メタンハイドレートは、低温・高圧の状態では結晶化した水分子のかごの中にメタン分子が入り込んだもので、一見すると、色白で、触ると冷たい、氷のような物質です。

中に入り込んでいるメタンは、発電や都市ガスに使われる天然ガスの主成分で、燃える性質を持っており、1 m³のメタンハイドレートから、160～170 m³ものメタンガスが発生します。

白く冷たいメタンハイドレートに火を近づけると、発生したメタンガスが勢いよく燃えることから、メタンハイドレートは「燃える氷」と呼ばれることがあります。

日本は、エネルギー資源の約9割を海外から輸入しており、日本近海に大規模な量が存在すると推定されているメタンハイドレートは、新しいエネルギー資源として注目されています。



「人工」のメタンハイドレート
出典:MH21-S研究開発コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合(会長:花角新潟県知事)は、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸12府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

公式WEBサイト <https://www.nihonkairengou.jp/>

海洋エネルギー 日本海連合

検索

お申込み方法

令和6年12月20日(金)までに
右記QRコードからお申し込みください。

※参加申込でいただいた個人情報は当フォーラムの目的以外には使用いたしません。



定員 100名 **先着**

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

会場: 福井県国際交流会館

JR福井駅より徒歩約10分(タクシーをご利用の場合約5分)
自家用車 福井ICまたは福井北ICから約20分

お問い合わせ先

福井県エネルギー環境部エネルギー課
TEL:0776-20-0230

MAP

